

## 現代首里方言訳『沖縄対話』(2)

### －「第一章 四季の部」(秋・冬)「第二章 学校の部」－

仲原 穰・比嘉恒明・仲里政子・新垣恒成・国吉朝政

#### はじめに

本稿は仲原・比嘉・仲里・新垣・国吉(2012)(以下、「仲原ほか(2012)」と称する)の続編で、明治13(1880)年に発行された『沖縄対話』に記載された首里方言と現在のことばとを比較したものである。今回は「第一章 四季の部」の後半にあたる「第三回 秋」「第四回 冬」と「第二章 学校」(第一回～第七回)を挙げた。『沖縄対話』に記載された首里方言やその特徴については、仲原ほか(2012:15-16)で述べたので、ここでは割愛する。

今回掲載する「首里方言」は、現在話されている首里方言を話す方々の大部分を占める旧士族階級や旧平民階級のことばである。両者の区別はほとんどみられないため、別々の欄に分けず、「現代首里方言」として示す。なお、インフォマントによって異なる表現や単語を選択した場合は「備考欄」で注記する。

調査に使用したのは『琉球語便覧』に記載された『沖縄対話』である。当初は復刻版『沖縄対話』を用いていたが、『琉球語便覧』収載の『沖縄対話』には「伊波普猷氏に乞うて別に之を羅馬字で写して貰つた」(『琉球語便覧』凡例。旧字は新字に直して引用した。また、「歴史的仮名遣い」も「現代仮名遣い」に改めた)という「ローマ字表記」も併記されているメリットがあるため途中から『琉球語便覧』収載のものに切り替えた。それにより本文中の片仮名表記の記述に疑問が生じた際にもローマ字表記ですぐに疑問が解消されることが多くあった。

以下に挙げた現代首里方言『沖縄対話』の主な言語資料は1998年から2012年にかけて週に1回(約2～3時間)行われている研究会<sup>1</sup>で得られた音声資料が基になっている。『沖縄対話』を現代首里方言に翻訳するという作業は、首里方言の通時的な変化を考えるという目的で行われ、将来的には若い世代への言語資料、教材となることを目標にしている。本稿のインフォマントは、首里で生まれ育っ

た故比嘉恒明氏 (1917年生)、仲里政子氏 (1923年生)、新垣恒成氏 (1932年生)、国吉朝政 (1940年生) の4名である (故人である比嘉氏の言語資料は、仲原や新垣氏が残していたこれまでの研究会の記録を参照した)。

特に70代の話者である国吉氏と他の話者との違いがある。世代差によるものと地域差 (国吉氏は首里の儀保出身であり、現在も暮らしている) が考えられるが、詳しくは別稿にて論じることにした。

なお、本稿に示した『沖縄対話』の「本文 (和文)」、ならびに『沖縄対話』本文 (沖縄語) は、次頁の凡例に従って示した。

## 凡 例

- 1 調査で使用した『琉球語便覧』の本文（和文）、本文（片仮名）も表に取り入れ、約130年前の首里方言と現在の首里方言を対照できるようにした。
- 2 『琉球語便覧』本文の和文表記は「歴史的仮名遣い」や「旧字体」で書かれているが、本稿では「現代仮名遣い」と「常用漢字表」の「新字体」を用いた表記にし、漢字片仮名交じり文は漢字平仮名交じり文に改めた。その際、読み仮名は『琉球語便覧』と同じ箇所（漢字）に付した。なお、送り仮名の一部に現在の表記法と異なるものも見られたが、これらもすべて「送り仮名の付け方」に従って示した。また「。」（句点）を適宜補った。
- 3 首里方言の記述は広く一般に利用してもらえるように片仮名表記にした。片仮名の表記は、西岡・仲原（2006 [2000] : 192-193）で示した片仮名表記を採用した。首里方言には以下のような発音があり、特殊な仮名遣いが必要である。  
「ツワ」「ツヤ」「ツン」「ツウイ」「ツウエ」「ウウ」「イイ」「ン」  
/ʔwa/ /ʔja/ /ʔN/ /ʔwi / /ʔwe/ /'u/ /'i/ /'N/
- 4 『琉球語便覧』本文の片仮名表記には圏点「・」を付して特殊な発音を示したものがみられる。具体的には「テ」と示して「ティ」、「デ」と示して「ディ」、「ト」と示して「トゥ」、「ド」と示して「ドウ」などと読ませるというものである。これらも読みづらいため、『琉球語便覧』のローマ字表記を頼りに音韻的な片仮名表記に直した。
- 5 『琉球語便覧』のローマ字表記は紙幅の都合により割愛した。詳しくは『琉球語便覧』または『伊波普猷全集』を参照されたい。
- 6 一人の発話を一つの枠に入れて示し、会話の冒頭部に通し番号を付した。

■第一章 四季の部 第三回 秋

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p. 9	ひるまは まだ 暑く ござりますが 朝夕は 少し 涼しくなりました。	フィルマー ナマ アツィサヤビー スイガ アサバノー ウフェー スイ ダク ナトーヤビーサーヤー。
2	p. 9	左様で ござります。大分 凌ぎや すく になりました。	アンヤイビーサ。ドゥットゥ シヌ ギヤシク ナトーヤビーン。
3	p. 9	今夜は 賞月を なされませぬか。	チューヤ ツィチミ ッシ ナーピ ラ。
4	p. 9	それは 至極 よろしう ござりま しょう。	ウレー ドゥットゥ ユタシャーネー ヤピラニ。
5	p. 9	私の 別荘へ 御出でなさいませ ぬか。	ワッター ヤードウインカイ ウン ジミシェーピラナ。
6	p. 9	貴方の 御別荘は 幽邃で よろし う ござりましょう。	ウンジュナー ヌ ウヤードウイエー シズィカ ナ トウクル ヤティ ユタシャヤビーサーヤー。
7	p. 9	それでは 少し 御先に 参ります から どうぞ 直に 御出でを 願 います。	アンシェー ウフェー ウサチ ナ ヤビー クトゥ ドーディン スイ グ イメンシェーピリ。
8	p. 9 - 10	はい。唯今支度をして 参ります が 何も 御用意は 下さいませぬ。	ウー。ナマ チャービークトゥ ヌー ン グユウェー ミションナ。
9	p.10	今晚は 珍しく 晴れましたから 月が 綺麗ではありませぬか。	チューヤ マクトゥニ クムン ネー ラン クトゥ イイー ツィチ ナ イエー シャピラニ
10	p.10	誠に 仕合で ござります。此様に 月のよきことは めったに ありま すまい。	ドゥットゥ シヤワシ デービル。 クヌグートル イイー ツィチエー ドゥク ネーラノー アヤピラニ。

■第一章 四季の部 第三回 秋

No	現代首里方言	備考欄
1	フィルマー ナマ アチサイビーシガ アサバノー *イフェー シダク ナトー イビーッサーヤー。	*国吉氏は「ウフェー」という。以下、 「少し」はこれに同じ。
2	アンヤイビーサ。*ユフドゥ シヌジ ヤシク ナトーイビーン。	*国吉氏はおもに「ユカイネー」を用い る。
3	チューヤ *チチナガミッシ **ンジャ ピラ。	*「チヂミ」でもよい。 **「ナーピラ」はやや古風な言い方。
4	ウレー イPPER ユタシコー ネーヤ ピラニ。	
5	ワッター ヤードゥインカイ *ウウン ジミシェーピラナ。	*「ツウエンソーラニ」(いらっしやらな いか)でもよい。
6	ウンジュナー ウヤードゥイェー シジ カナ トゥクル ヤイビークトゥ ユタ サイビーッサーヤー。	
7	アンシェー イフェー ウサチ ナイビー クトゥ ドーディン シグ イメンシェー ビリ。	
8	ウー。ナマ チャービークトゥ *ヌー ングユイェー ミシェーピンナ。	*「ヌー グシコーイン シミシェービー ンナ」でもよい。
9	チューヤ ミジラシク ユー ハリトー イビークトゥ イイー チチ ナイェー サピラニ。	
10	マクトゥニ シヤワシ ヤイビーン。ク ングトール イーチチェー ドゥク ネーラノー アイピラニ。	

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
11	p.10	左様で ござります。秋の <sup>うち</sup> 中にも 少なく ござりましょう。	アンデービル。アチ ヌ ウチ ニ ン イキラサ ヤビーラ ハズィ。
12	p.10	あの <sup>こずえ</sup> 梢に <sup>かか</sup> 掛りたる <sup>けしき</sup> 景色は 如何 でござります。	アヌ キー ナカイ カカトール チャーチャー チャー ガ ヤヤビー ラ。
13	p.10	なるほど <sup>みごと</sup> 見事で ありますが こ の水に <sup>うつ</sup> 映る光も 綺麗で ござり ます。	アン ヤイピーサー。フィルマシャ ヤピーサーヤー。クヌ ミズィ ン カイ ウツイトール フィカリン ユタシャ ヤピーサー ヤー。
14	p.10	<sup>しりょう</sup> 詩料が 十分ではござりませぬか。	シー ヌ ザイリョーヤ ジューブ ノー アヤピラニ。
15	p.10	余り 多過ぎますで <sup>かへ</sup> 却って <sup>くる</sup> 苦し みます。	ドゥク ウフサ ヌ ケーテー ス クエーシ ドウ シャビール。
16	p.11	漸く 拙作が 出来ましたから <sup>お</sup> 御 <sup>なお</sup> 直し 下されませ。	ヨーヤク ツクテー ヤビースイガ ノーチ ウタビミシェービリ。
17	p.11	よう <sup>お</sup> 御早く 出来ました。 <sup>はいけん</sup> 拝見 いたしましょう。	アンシ フェーク ウツクミ ショー チェールン。ウウガディ ナーピラ。
18	p.11	これは 結構で ございます。	クレー ディキトーヤビーン。
19	p.11	<sup>しい</sup> 否へ。左様では ござりませぬ。 どうぞ 十分に <sup>ごてんさく</sup> 御添削を 願いま す。	アー アネー アヤピラン。ドーディ ン ウフォーク ノーチ ウタビミ シェービリ。
20	p.11	御庭 <sup>もみじ</sup> の楓は 色よく <sup>そま</sup> 染りました。	ウニワ ヌ ムミジェー イーイ ル ヤヤピーサー。
21	p.11	はい。当年は 思いの外 よく な りました。	ウー。クンドー ウミー ヌ フカ ユタシャヤピーサー。
22	p.11	明日は <sup>きくみ</sup> 観菊を 致しますから 御 出でなされませぬか。	アチャー チクミ シャビー クトウ イメンシェービリ。

No	現代首里方言	備考欄
11	アンヤイビーサ。 アチヌ ウチニン イキラサイビーラ ハジ。	
12	アヌ キーヌスーランカイ カカトール *チーチェー チャーガ ヤイビーラ。	*国吉氏は「チーチ」を用いず「チシチ」という（以下同じ）。よって、ここでは「チシチェー」となる。
13	アン ヤイビーサ。 フィルマサイビーッ サーヤー。 クヌ ミジンカイ ウチトール フィカリン ユタサイビーンヤー。	
14	シーヌ ザイリョートウツシェー ジュー ブノー アイピラニ。	
15	ドゥク *ウフサイビーシニチーテー ケーテー スクウェーシドゥ **サビール。	*国吉氏は「～シニチーテー」を使用しないため、「ウフサビークトウ」という。 ** 「ウウイビール」でもよい。
16	ヨーヤク チュクテーイビー*シガ ノー チ ウタビミシェービリ。	*仲里氏は本文（和文）に合わせ、「クトウ」がよいと提案。
17	アンシ フェーク ウチュクミ *ソー チェーイビールン。 ウウガディ ナービ ラ。	* 「ソーチェーイビール ムン」でもよい。
18	クレー ディキトーイビーン。	
19	*アー。 アネー アイピラン。 ジフィ **ウフォーク ノーチ ウタビミシェー ビリ。	*国吉氏は「ウウーウウー」という。 **ここは「チム フジュル マディ」（存分に）でもよい。
20	ウニワヌ ムミジェー イイー イル ヤイビーッサー。	
21	ウー。 クンドー ウミーヌ フカ *ユ タサイビーッサー。	* 「マシ ナトーイビーン」でもよい。
22	アチャー チクミ サビークトウ ッウェ ンシェービリ。	

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
23	p.11	それは ありがとう ござります。	ウレー ミフェー デービル。
24	p.11	貴方は 菊が <sup>おす</sup> 御好きで ござりますか。	ウンジョー チコー ウスイチガ ヤヤピーラ。
25	p.11	はい。私は 至て すき で ござります。	ウー。ワンネー ドウットウ スイ チョー ヤピーン。
26	p.12	貴方は 如何で ございます。	ウンジョー チャーガ ヤヤピーラ。
27	p.12	私は 菊に 限りませず 草花の類は 何でも すいて おります。	ワンネー チク バカーイエー アラン クサバナヌルイエー ヌーン スイチョーヤピーン。
28	p.12	それでは 盆栽を <sup>お</sup> 御持ちで ござりましょう。	アンシエー ハーチウイ ン ウムチ ミショーチョーラ ハズィ デービル。
29	p.12	はい。蘭の類を 少し <sup>うえ</sup> 栽て おります。	ウー。ラン ヌ ルイ ウフェー ウイテー ヤピーン。
30	p.12	どういう 蘭で ござります。	ヌー ラン ガ ヤヤピーラ。
31	p.12	名護蘭と 大葉蘭 <sup>など</sup> 杯が 四五十鉢 ござります。	ナグラン トウ ウーファラン トウ ウシャーチ シグンジューハーチ アヤピーン。
32	p.12	それは 沢山な もので ござりますが 一度 <sup>いちど</sup> 拝見を 願います。	ウレー ウフォーク ヤヤピールン ナー。イチドウ ウウガディ ナーピラ。
33	p.12	何時なりとも <sup>おひま</sup> 御暇の節は <sup>ご</sup> 御光来 下されませ。	イツィディン ウフィマ ヌ バシユ イメンシェーピリ。
34	p.12	ありがとう ござります。	ミフェー デービル。



No	現代首里方言	備考欄
23	ウレー ニフェー デービル。	
24	ウンジョー チコー ウシチガ ヤミシエー ピーラ。	
25	ウー ワンネー *ドゥットウ シチョー イピーン。	*「ジコー シチ ヤイピーン」でもよい。なお、「ジコー」は「イッペー」でもよい。
26	ウンジョー チャーガ ヤイピーラ。	
27	ワンネー チク *ビケーノー アイピ ラン。クサバナヌ *ルイエー ヌーヤ ティン シチョーイピーン。	*「ビケージェー アイピラン」でもよい。**「ルイ」は「タグイ」にすることも可能である(以下同じ)。よって、ここでは「タグイエー」でもよい。
28	アンシェー ハーチウィーン *ウムチ ミショーチョーイピーラ ハジ。	*国吉氏は「ウムチミショーチョーイピー ル ハジ」という。
29	ウー。ランヌ ルイン イフェー ウィー テーイピーン。	
30	*ヌー ランガ ヤイピーラ。	*「チャヌヨーナ ランガ ヤイピーラ」 でもよい。
31	ナグラントウ ウーファラントウ ウサー チ *シグンジューハーチ アイピーン。	*国吉氏は「シグンジューヌ ハーチヌ アイピーン」という。
32	ウレー ウフォーク ヤイピールンナー。 イチドー *ウウガマチ クイミシエー ビレー。	*「ミシティ クイミシエービレー」で もよい。
33	イチヤティン ウフィマヌ パソー ツメンシェービリ。	
34	ニフェー デービル。	

■第一章 四季の部 第四回 冬

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.13	大分 寒くなって まいりましたが 立冬は いつで ござりましょう。	ドゥットゥ フィーク ナトーヤビー スイガ リットー ヤ イツイ デー ビルガヤー。
2	p.13	今日が 節がわりとか 申して お りました。	チュー カラ シツイイリンディ ガ ヤラ イヤビータ スイガ。
3	p.13	それでは 寒い筈で ござります。 貴方は 御薄着では ござりませぬ か。	アンドゥンヤレー フィーサラ ハ ズィ ヤヤビースイ ガ ウンジョー ウスジェー アミシェーピラニ。
4	p.13	私は 襦袢に 袷を 着て おりま すが 寒いことは ありませぬ。	ワンネー ジパン ニ アーシムン チチョークトゥ フィーコー ネー ヤピラン。
5	p.13	夜が 余程 長く になりましたから 夜中に 目が 覚て 困ります。	ユル ヌ ドゥットゥ ナガク ナ タクトゥ ユナカカラー ミークファ ティ スックェーチョーヤビーサー。
6	p.13	私も 御同様で ありますが 少し ずつ 書物を見るのが 出来ま する。	ワンニン イイヌムン ヤヤビースイ ガ ウフィナー ヤ シュムツイ ナービーン。
7	p.13- 14	御床の 軸物は 誠に 結構な 品 では ござりませぬか。	ウトゥク ヌ カキムノー ドゥッ トゥ ユタシャヤビールナー。
8	p.14	格別 よくも ありますまいが 唯 雪中の景を 楽しみに 掛けて お ります。	アンマディ ユタシコー ネーノー アスイガ タダ ユチ ヌ チー タヌシディ カキテー ヤビーン。
9	p.14	誰の 画で ござりますか。	ター イーガ ヤヤビーラ。
10	p.14	文徴明の筆で あります。	ブンチョーミー ヌ フディ ヤヤ ビーン。

■第一章 四季の部 第四回 冬

No	現代首里方言	備考欄
1	*イッペー フィーク ナトーイビーシガ リットゥーヤ イチ ヤイビーガヤー。	*「ユカイネー」でもよい。
2	チューカラ *シチガウインディガ ヤラ ッヤビータシガ。	*「シチ イン」でもよい。
3	アンドンヤイビーレー フィーサル ハジ ヤイビーシガ ウンジョー ウスジェー アミシェーピラニ。	
4	ワンネー ジバヌンカイ アーシムン チチョーイビークトゥ フィーコー *ネーイピラン。	*新垣氏は「ネーピラン」という。
5	ユルヌ ユカイ ナガク ナトーイビークトゥ ユナカカラー ミー クファティ スクェーチョーイビーッサー。	
6	ワンニン イィヌムン ヤイビーシガ ウンナ バーヤ ウフィナーヤ シムチンーチョーイビーン。	
7	ウトウクヌ ジクムノー マクトウニ *ディッパ ヤイビールンナー。	*比嘉氏は「リッパ」という。
8	*アンマディ ディッパナ ムノー アイピランシガ タダ ユチヌチー タヌシディ カキテーイビーン。	*「ディッパナムノー」は「ジョートゥーヤ」でもよい。なお、国吉氏は「アンスカー イィー ムノー アイピランシガ」という。
9	ター イィーガ ヤイビーラ。	
10	ブンチョーメイヌ フディ ヤイビーン。	

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
11	p.14	おひばち 御火鉢の 火は ござりますか。	ミフィバチ ヌ フィーヤ アイ ガ シャビーラ。
12	p.14	はい。 沢山ござります。	ウー。ウフォーク アヤビーン。
13	p.14	少し 炭を 容れましょうか。	ウフェー タン イリヤピラ。
14	p.14	まだ 宜しう ござります。	ナマー ユタシャ ヤビーン。
15	p.14	今晚の 風は 随分 寒う ござい ます。	チュー ヌ カジェー ドウツトゥ フィームン ヤヤビーサー。
16	p.14	左様で ござります。先刻より 少 し 雪が 降りて おります。	アンデービル。ナマ サチカラ ウ フェー ユチ ヌ フトーヤビーン。
17	p.14	最早 <sup>ねんない</sup> 年内も おし迫りましたが つきひ <sup>ゆく</sup> 月日の 行は 早いもので ござい ます。	ナー トウシ ウチ ン ウシツイ マ トースイガ ツイチフィ ヌ スギトーイシェー フェームン ヤ ヤビーサー。
18	p.14- 15	左様で ござります。一年計 <sup>ばかり</sup> は 夢 の様に <sup>よう</sup> 暮 <sup>くら</sup> して 仕舞 <sup>しまい</sup> ます。	アンデービル。イチニンクラシユスイ ン イミ ヌ グトゥドゥ アヤビー ル。
19	p.15	永く <sup>おじゃま</sup> 御邪魔を 仕りました。	ドウツトゥ ウフィマドゥイ ナヤ ピタン。
20	p.15	お 御帰りで ござりますか。最早 当 年は <sup>お</sup> 御目 <sup>おめ</sup> にかかりますまい。御目 <sup>おめ</sup> 出度 <sup>でと</sup> う 新年 <sup>しんねん</sup> を 御迎 <sup>おむか</sup> え なされま せ。	イメンシェービーミ。ナー クンドー ウィガマンハズイ ミディタク シ ニンン ウムケーシミシェービリ。
21	p.15	ありがとう ござります。	ミフェーデービル。
22	p.15	これは <sup>しつれい</sup> 失礼 <sup>しつれい</sup> いたしました。	クレー グブリー ナヤピタサー。

No	現代首里方言	備考欄
11	ミフィバチヌ フィーヤ アイガ サピーラ。	
12	ウー。ウフォーク アイビーン。	
13	イフェー タン イリヤピラ。	
14	ナマー ユタサイビーン。	
15	チュー コルヌ カジュー イPPERフィームン ヤイビーッサー。	
16	アン ヤイビーサ。ナマ サチカラ イフェー ユチヌ フトーイビーン。	
17	ナー トゥシ ウチン ウシチマトーイビーシガ チチフィヌ *タチュシェーフエームン ヤイビーサ。	*「シジチュシェー」でもよい。
18	アン ヤイビーサ。イチニン クラスシン イミヌ グトゥドゥ アイピール。	
19	ドゥットゥ フィマダーリ シミソーラ サビタン。	
20	ウケーミシェービーミ。ナー クンドーウウガマラン ハジ ヤイビーレー イーソーグウチ ウンケーシミシェービリ。	
21	ニフェーデービル。	
22	*クリッシ グブリー サピラ。	*本文（和文）では「これは」だが、通常退室するときは「クリッシ」（これで）を用いる。

■第二章 学校の部 第一回

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.15	貴方 <sup>おとけい</sup> の御時計は 何時でありますか。	ウンジュヌ ウトゥチャー ナンジ ナトーヤビーガ。
2	p.15	私の時計は 八時でございます。	ワー トゥチャー ハチジ ナトーヤビーン。
3	p.15	最早 学校へ 御出なさる時刻ではありませんか。	ナー ガッコーンカイ ンジミシェール ジブノー アヤピラニ。
4	p.15	否へ 少し 早うございます。	アヤピラン。ウフェー フェーサヤビーン。
5	p.15	学校迄の 道は 何程 ありますか。	ガッコーマディヌ ミチチャー チャヌ シャコー アヤビーガ。
6	p.16	大概 八九丁位で ございます。	テーゲー ハックチョーヌ シャクアヤビーン。
7	p.16	何十分ばかりで 行かれますか。	ナジップンヌ シャクウウティ イチャビーガ。
8	p.16	一時の 四分一ばかりで 参ります。	ジューグフンウウテー イチャービーン。
9	p.16	授業は 何時から 始まりますか。	ナラユシェー ナンドゥチカラ ハジマユガ。
10	p.16	九時に はじまります。	クジカラ ハジマヤビーン。
11	p.16	最早 九時では ありませんか。	ナー クジ ナターノー アイピラニ。
12	p.16	成程 九時前に なりましたから失礼で ございますが 支度を致しません。	アンデービル。クジメー ナトーヤビーン。グブリー ヤヤビーヌィガ シタクシャピラ。

■第二章 学校の部 第一回

No	現代首里方言	備考欄
1	ウンジュヌ ウトゥチャー ナンジ ナトーイビーガ。	
2	ワー トゥチャー ハチジ ナトーイビーン。	
3	ナー ガッコーンカイ ッンジミシエール ジブノー アイピラニ。	
4	アイピラン。イフェー フェーサイビーン。	
5	ガッコー マディヌ ミチエー チャヌ *アタイ アイビーガ。	*「アタイエー」でもよい。
6	テーゲー ハックチョー グレー アイビーン。	
7	ナンジップン グレーッシ イチャビーガ。	
8	ジューグフンウウテー イチャビーン。	
9	ナラユシエー ナンドゥチカラ ハジマイビーガ。	
10	クジ*カラ ハジマイビーン。	*「ニ」でもよい。
11	ナー クジ ナタノー アイピラニ。	
12	アンヤイビーサ。クジメー ナトーイビークトゥ グブリー ヤイビーシガ シタクサピラ。	

■第二章 学校の部 第二回

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.16	私に 紙を 一二枚 <sup>お</sup> 借し 下されませぬか。	ワンニ カビ イチニンメーヤ ウンチェームン ナイエーシャピラニ。
2	p.16	貴方は 御持ちなされませぬか。	ウンジョー ウムチミシェーピラニ。
3	p.16	はい。今日は 急で まいりました ゆえ <sup>とん</sup> 頓と忘れました。	ウー。チューヤ イスジ チャービ タクトゥ ケーワシトーヤビーサー。
4	p.17	何になされますか。	ヌー シミシェービーガ。
5	p.17	手紙を <sup>したた</sup> 認めとうござります。	ティガミ カチテンディ ウムトーヤビーン。
6	p.17	何れへ <sup>お</sup> 御つかわりに なりますか。	マーンカイ ウツィケーミシェービーガ。
7	p.17	朋友の 某迄 贈りとう ござります。	ドゥシヌ ナニガシマディ ウクイテンディ ウムトーヤビーン。
8	p.17	<sup>おいまぎ</sup> 御急の 御用事で ござりますか。	ウイスジヌ グユージュガ ヤヤビーラ。
9	p.17	左様でござります。	アン ヤヤビーサー。
10	p.17	何紙でも 宜しうござりますか。	ヌー カビ ヤティン ユタシャガアヤビーラ。
11	p.17	半紙でも 半切でも 宜しうござります。	ハンシディン ハンキリディン ユタシャヤビーン。
12	p.17	それでは 沢山 ありますから ござえんりょなく <sup>お</sup> 御つかい成されませ。	アンシェー ウフォーク アヤビークトゥ ウカカワイン サーラングトゥ ウツィケーミシェーピリ。



■第二章 学校の部 第二回

No	現代首里方言	備考欄
1	ワンニンカイ カビ イチニンメーヤ ウンチェームン シミティ クイミソー ラニ。	
2	ウンジョー ムツチエー *ツメンソー ラニ。	*「ツメンシェーピラニ」でもよい。
3	ウー。チューヤ イスジ チャーピタク トゥ ケー *ワシトーイピーサ。	*「ワシトーイピーッサー」「ワシティ ネー(イ)ピランサー」でもよい。
4	ヌー シミシェーピーガ。	
5	ティガミ カケーヤンディ ウムトー イピーン。	
6	マーンカイ ッンジャシミシェーピーガ。	
7	ドゥシヌ ターターンカイ ウクレーヤ ンディ ウムトーイピーン。	
8	ウイスジヌ グュージュガ ヤイピーラ。	
9	アン ヤイピーサ。	
10	ヌー カピヤティン *ユタサイピーミ。	*「ユタサガ アイピーラ。」でもよい。
11	ハンシヤティン ハンキリヤティン ユ タサイピーン。	
12	アンシェー ウフォーク アイピークトゥ *ゲインル シミソーラングトゥ ウチ ケー ミシェーピリ。	*仲里氏は「グインドウ」と発音する。

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
13	p.17	ふうとう <sup>ご</sup> 封筒も 御入用なら これに ござります。	ティガミブクルン ウイリユードウン ヤラー クマナカイ アヤビーン。
14	p.17	それでは 一枚 <sup>いただ</sup> 戴きましょう。	アンシェー イチメーヤ ウタビミシェーベリ。
15	p.17-18	お <sup>お</sup> 御つかいなされませ。	ウツィケーミシェーベリ。
16	p.18	おかげ <sup>した</sup> 御蔭で 漸く 認めました。	ウカジニ ヨーヤク カチャビタン。
17	p.18	あなた <sup>ぶんぼうしょ</sup> 貴方の 文法書は 至極 結構と存じますが 一寸 <sup>ちよっと</sup> 御見せ 下されませぬか。	ウンジュヌ ティフノー ドウツトゥ ユタシャンディ ウムトーヤビースイガ イチュター ミシティ ウタビミシェーベリ。
18	p.18	いつ <sup>ごらん</sup> 何時でも 御覧成されませ。十二月帖 <sup>ちよう</sup> も 御入用なら御覧なさい。	イツィヤティン ウミカキミシェーベリ。ジューニグウツィティフン ウイリユードウン ヤラー ウミカキミシェーベリ。
19	p.18	これは ありがとう。なるほど 委 <sup>くわ</sup> しくござりますが これは 何処の書林 <sup>しよりん</sup> で 御求めに なりましたか。	クレー ミフェーデーピル。チャーカンシ クワシサヤビースイガ クレー マー ヌ シュムツィヤーカラ ウムトゥミ ミシェービタガ。
20	p.18	いづみや <sup>いづみや</sup> 和泉屋にて 買いました。	イズミヤー カラ コーヤビタン。
21	p.18	誠に 結構でござります。是非 <sup>ぜり</sup> 私も求めましょう。	ドウツトゥ イームン ヤヤビールンナー。チャーシン ワンニンムトゥミリワドゥ ヤヤビール。

No	現代首里方言	備考欄
13	ティガミブクルン グイリユー ヤミシェーラー クマンカイ アイビーン。	
14	アンシェー イチメーヤ ウタビミシェービリ。	
15	*チカティ クイミシェービリ。	*「チカミシェービリ」でもよい。また、親しい相手には「チカミソーレー」を使う。
16	ウカジニ ヨーヤク カチャピタン。	
17	ウンジュヌ ティフノー シグク ユタサンディ ウムトーイビーシガ *イフェーミシティ ウタビミシェービリ。	*「イットウチ (グワー)」でもよい。
18	イチ ヤティン ウミカキミシェービリ。ジューニグワチチョーン ウイリユードゥン *ヤイビーレー ウミカキミソーレー。	*「ヤレー ウチカキミシェービリ」でもよい。
19	クレー ニフェーデーピル。*チェー、カンシ クメーキティ カカットーイビーシガ クレー マーヌ スムチャヤー カラコーミシェービタガ。	*国吉氏は「ンチャ」を用いる。
20	イズミヤーカラ コーイピタン。	
21	イッペー イームン ヤイビールンナー。ジフィ ワンニン コーリワドゥ ヤイビール。	

■第二章 学校の部 第三回

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.18	先生 伺います。	ウンジュ ンカイ ウンニユキテイ ニヤーピラ。
2	p.19	何でありますか。	ヌー ヤヤビーガ。
3	p.19	小学読本の 字引は 無いもので ござりますか。	ショウガクトックフンヌ ジーフィ チャーネンガ アヤビーラ。
4	p.19	<sup>たくきん</sup> 沢山 あります。	ウフォーク ヤヤビーン。
5	p.19	こちらにも 参りておりましたか。	クマニン アイガ シャビーラ。
6	p.19	すこしは 来て おります。それ を求めては 如何でござりましょう。	ウフェー チョーラハズィ ヤヤビ ーン。ウリ ムトウミタラー チャ ヤヤビーガ ヤー。
7	p.19	其れも よくありましようが 近日 の内に <sup>よ</sup> 良き字引を 拵えます。	ウリン ユタシャー アラ ハズ ヤヤビースィガ クヌウチ イー ジーフィチヌ ンジャビーン。
8	p.19	何の字引を <sup>ごへんしゅう</sup> 御編集になりますか。	ヌーヌ ジーフィチ ウツクイミシエ ビー ガ。
9	p.19	小学読本と 日本略史 物理階梯文 は 最早 <sup>そうごう</sup> 草稿が 出来ております。	ショーガクトックフンニ ニフンリヤ クシ ブツリカイテイヌ アタイエ ナー ジガチヌ ディクトーヤビ ーン。
10	p.19	其は 至極 結構でござりますが 一部ずつ <sup>おつかは</sup> 御遣し 下されませぬか。	ウレー ドウットウ ユタシャヤビー スィガ イチブナーヤ ウムタシミ シエーピランナー。

■第二章 学校の部 第三回

No	現代首里方言	備考欄
1	ウンジュンカイ *トゥーティ ユタサイ イビーミ。	*「ウンヌキヤビラ」でもよい。
2	ヌー ヤイビーガ。	
3	ショーガクトクフン ヌ ジーフィチャー *ネーイピランガヤー。	*新垣氏は「ネーピランガヤー」という。
4	ウフオーク アイビーン。	
5	クマニン アイガ サビーラ。	
6	イフェー チョール ハジ ヤイビーン。 ウリ ムトゥミタラー チャー ヤイビー ガヤー。	
7	ウリン ユタサー *アラ ハジ ヤイ ビーシガ クヌ ウチ イー ジーフィ チヌ ッンジャビーン。	*「アル ハジ~」でもよい。(以下同じ)
8	ヌーヌ ジーフィチ チュクミシェービー ガ。	
9	ショーガクトクホンニ ニホンリヤクシ ブツリカイテイヌ アタイエナー ジカチヌ ディキトーイビーン。	
10	ウレー イPPER ユタサイビーシガ *イチブナーヤ **ウタビミシェーピラ ンナー。	*「ティーチナー」でもよい。 **「ウタビミシェーピランガヤー」でも よい。

No	頁	本文 (和文)	『沖繩対話』本文 (沖縄語)
11	p.19	もと 素より <sup>みなさま</sup> 皆様へも 進上致すつもり であります。	メーカラ グスーヨンカイ ウシャ ギール カンゲーヤヤビーン。
12	p.19	書簡を 認めます <sup>てほん</sup> 軌範は 何が よろしうござりませう。	ティガミ カチュル ティフノー ヌーヌガ マシヤヤビーン。
13	p.20	十二月帖では 如何であります。	ジューニグウツイジョーンデーヤ チャーガ ヤヤビーン。
14	p.20	あれは 先月 求めましたが 外に はござりますまいか。	アレー クタツイチ トゥメーター スイガ フカネー ネーンガアヤビー ラ。
15	p.20	近頃 私がこしらえました 作文五 百題と申す本は 随分 <sup>おため</sup> 御為に なりました。	クヌグル ワーガ ツイクテル サクブングヒャクダインディ ユル フノー ドウツトゥ ウダミニ ナ ヤビールハズィ。
16	p.20	夫は 何処に ござりませう。	ウレー マーナカイガ アヤビーン。
17	p.20	東京の <sup>しょりん</sup> 書林なれば 何れも 持って おります。	トーチョーヌ シュムツィヤー ドウ ンヤレー マーヤティン ムツチョー イビーン。
18	p.20	其代価は 何程で ござりますか。	ウリガデーヤ チャヌシャクガ ヤ ヤビーン。
19	p.20	一部 八拾銭位で ありませう。	イチブシャーイ ハチジッシンヌ シャクヤルハズィ ヤヤビーン。

No	現代首里方言	備考欄
11	メーカラ グスーヨンカイ ウサギール カンゲー ヤイピーン。	
12	ティガミ カチュル ティフノー ヌーヌガ マシ ヤイピーラ。	
13	ジューニグウチジョー ンデーヤ *チャーガ ヤイピーラ。	*「チャー ヤイピーガヤー」でもよい。
14	アレー クタチチ *ムトゥミヤピタシガ フカネー ネーンガ アイピーラ。	*「ムトゥミテーピータシガ」でもよい。
15	クヌグル ワーガ チュクテール サクブングヒャクデーンディ ッユル フノーイッパー タミニ ナイピーラ ハジ。	
16	ウレー マーンカイガ アイピーラ。	
17	トーキョーヌ スムチャードウンヤレー マーヤティン ムッチョーイピーン。	
18	ウリガ デーヤ チャヌ *サクガ ヤイピーラ。	*「アタイ」でもよい。
19	*イチブサーニ ハチジッセンヌ サク**ヤル ハジ ヤイピーン。	*国吉氏は「イチブ」を「ティーチ」とする。 **「ヤイピール ハジ。」でもよい。

■第二章 学校の部 第四回

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.21	貴方は 東京の言葉 <sup>ことば</sup> で 御話 <sup>おはなし</sup> が 出 来ますか。	ウンジョー トーチョーヌ クトウ バシャーイ ウファナシ ウナミシェー ピーミ。
2	p.21	なかなか よくは 話せませぬ。	アー シカットー ハナシェーナヤ ピラン。
3	p.21	誰れに 御習 <sup>お</sup> い なされました。	ターカラ ウナレーミシェーピタガ。
4	p.21	此頃 <sup>でんしゅうじよ</sup> 伝習所 <sup>でんしゅうじよ</sup> で 習うております。	クヌグロー デンシュージュウウテー ナラヤビーン。
5	p.21	伝習所の 生徒にて 能く 話せる 人が ござりますか。	デンシュージュヌ ガクシーナカイ ユー ハナシ ナユルムヌン ウヤ ピーミ。
6	p.21	二三人は 能く 話せる人も ござ りましょう。	ニサンニノー ユー ハナシシュスイ ン ウヤビールハズィ。
7	p.21	貴方の 御賢弟も 御越しに なり ますか。	ウンジュヌ ウミットウン ウンジ ミシェーピーミ。
8	p.21	はい 弟も 入校 致させました。	ウー。ウットウン ガッコーンカイ イリヤピタン。
9	p.21- 22	夫れは 結構なことで ござりまし たが もう 能く 御出来なさるで ござりましょう。	ウレー イイークトウ ヤヤピーサー。 ナー ユー ミシェール ハズィ デービル。
10	p.22	なかなか左様では ござりませぬが 併し 兎角 <sup>とかく</sup> 学問は 好きの様で ござ ります。	アー アネー アヤピランサー。ヤ スイガ チャーシン ガクムノースイ チョール ヨースィ ヤヤビーン。



■第二章 学校の部 第四回

No	現代首里方言	備考欄
1	ウンジョー トーキョーヌ クトウバ サーニ ウファナシ ナミシェービーミ。	
2	*アー。シカットー ハナシェー ナイ ピラン。	*国吉氏は「ンー」を用いる。
3	*ターカラ ナラミシェービタガ。	*さらに敬意を示す際は「マーカラ」(ど なたに)を用いる。
4	クヌグロー デンシュージョウウティ ナラトーイビーン。	
5	デンシュージョヌ シートウナカイ ユー ハナシ *ナイル シートウヌ ウウイ ビーミ。	*「ナイシン ウウイビーミ」でもよい。
6	ニサンニノー ユー ハナシ スシン ウウイビーラハジ。	
7	ウンジュヌ ウミットウン *ウンジミ シェービーミ。	*国吉氏は使用しない。
8	ウー。ウットウン ガッコーンカイ イ リヤビタン。	
9	ウレー イー クトウ ヤイビーッサー。 ナー ユー ハナシ *シミシェーラ ハジ。	*「シミシェービーラヤー」でもよい。
10	アー。アネー アイピランサー。ヤイビー シガ チャーシン ガクムノー *シチョー ル ヨーシ ヤイビーン。	*「シチャル ヨーシ」でもよい。

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
11	p.22	当時は 言葉が 広く 通じませぬと 誠に 不自由で ござります。	ナマヌジシーヤ クトゥバヌ フィルク ツーヅランドウンアレー ドウツトウ サシツィケー ヤヤビーサーヤー。
12	p.22	左様さ。昔とは違ひまして 交際が 広くありますから。	アンヤビーサ。ンカシトーカワティ マジワイヌ フルクナトーヤピーク トウ
13	p.22	東京の言葉は 広く通じますか。	トーチョーヌクトウパー フィルク ツーヅーガシャピーラ。
14	p.22	何県にても 大概 通じます。	マーヌチンヤティン テーゲーヤ ツーヅヤピーン。

## ■第二章 学校の部 第五回

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.22	貴方は 小学校へ 幾年程 お越し になりましたか。	ウンジョー ショウグウコーンカエー ナンニン ヌ シャク ウン jy ミシェー ビタガ。
2	p.22-23	四年半計り 通いました。	ユニンハンバカーイ カユヤビタン。
3	p.23	小学校では 何を お御読みに なりましたか。	ショーガツコー ウウター ニー ウウミ ミシェービタガ。
4	p.23	小学教科書は 大概 読んで 仕舞 いました。	ショーガツコーキョークウショー テーゲー ユディウチナシャビタン。
5	p.23	それでは 最早 小学科は 卒業なされましたか。	アンシェー ナー ショーガククワー ウウイガ ミシェービタラ。
6	p.23	はい 昨年の 後期試験で 卒業証書を もらいました。	ウー。クジュヌ コーキシケン ウウティ ソツギョーショーショ トウヤビタン。

No	現代首里方言	備考欄
11	*ナマヌ ユヌナカー クトゥパヌ フィルク **ツージランドゥンアレー ユフドゥ サシチケー ヤイビーッサーヤー。	*「ナマヌ ユヌナカー」は「ナマー」の方がよいが和文に準ずるとこうなる。 **国吉氏は「通じない」を「チェージラン」と発音する。(以下、同じ)
12	アン ヤイビーッサー。ンカシトー カワティ *トゥイフィレーヌ フィルク ナトイピークトゥ。	*「マジワイ」は「交際」の他に「性的な行為」も表す。
13	トーキョーヌ クトゥパー フィルク ツージャビーガヤー。	
14	マーヌ ケンヤティン *テーゲー (ヤ) ツージャビーン。	*「エーディン」もよい。

## ■第二章 学校の部 第五回

No	現代首里方言	備考欄
1	ウンジョー ショーガッコーンカイエー ナンニンピケーン ッンジミシェーピタガ。	
2	ユニンハンピケーン カユヤピタン。	
3	ショーガッコウウテー ヌー ウユミミシェーピタガ。	
4	ショーガクキョークウショー テーゲーユディ ウチナサピタン。	
5	アンシェー ナー ショーガックワーウワイガ シミシェーピタラ。	
6	ウー。クジュヌ コーキシケンウウティ ソツギョーショーショ トウヤピタン。	

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
7	p.23	窮理書 <sup>きゆうりしよ</sup> は 御読み <sup>お</sup> なされたか。	キューリショー ウユミシエーガ シャピタラ。
8	p.23	唯今 読んで 居ります。	ナマ ユナビーン。
9	p.23	左様なら 少し <sup>おたづ</sup> 御尋ね <sup>ね</sup> 申しましょ う。	アンシエー ウフェー フジンッシ ナーピラ。
10	p.23	はい かしこまりました。	ウー。
11	p.23	富士山 <sup>ふじさん</sup> の様な 高き山を ま上より 見下すには 如何したらばよろし うありますか。	フジサンヌ グトール コーザン ウィー カラ ミーウルシュシエー チャーシードウンシエー ナイビー ガヤー。
12	p.23	軽気球 <sup>けいききゅう</sup> に 乗りましたら 見下すこと が出来ましよう。	ケイキキュー ヌイ ドウンシエー ミーウルサリール ハジ ヤヤビー ン。
13	p.23- 24	此世界 <sup>はうけい</sup> は方形でありますか 又平坦 <sup>へいたん</sup> でありますか。	クヌ シケーヤ シツカクニ ガ アヤピラ マタ フィラサ ガ ア ヤピラ。
14	p.24	円形 <sup>えんけい</sup> でありますから 地球 <sup>ちきゅう</sup> と申しま す。	マルサ クトゥ ドウ チキュー ンディ イヤビール。
15	p.24	動きますか。動きませぬか。	ンジュチ ガ シャビーラ ンジュ カン ガ アヤビーラ。
16	p.24	始終 <sup>しじゅう</sup> 動いております	チャー ンジュチャビーン。
17	p.24	どう 動きますか。	チャーシ ッシ ンジュチャビーガ。
18	p.24	西より 東に 転 <sup>めく</sup> ります。	イリ カラ アガリ ンカイ ミグ ヤビーン。

No	現代首里方言	備考欄
7	キューリショー *ウユミミシエービ ティー。	*「ウユミソーチー」でもよい。敬意対 象が同席していなければ「ユミミソーチャ ガヤー」がよい。
8	ナマ ユドーイビーン。	
9	アンシェー イフェー ウタジニッシ ナーピラ。	
10	ウー。	
11	フジサンヌグトール タカサル *ヤマ ツウィーカラ ミーウルスシェー チャー シードウンシェー ナイビーガヤー。	*国吉氏は「ヤマヌ ツウィー」という。
12	ケイキキュー ヌイドウンシェー ミー ウルサリーラ ハジ ヤイビーン。	
13	クヌ シケーヤ シッカクーガ ヤイビー ラ。フィラサガ アイビーラ。	
14	*マルサ クトウドウ チキューンディ ツヤビール。	*「マルサイビークトウドウ」でもよい。
15	ツンジュチガ サビーラ。ツンジュカン ガ アイビーラ。	
16	チャー ツンジュチャビーン。	
17	チャーシッシ ツンジュチャビーガ。	
18	イリカラ アガリンカイ ミグヤビーン。	

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
19	p.24	昼夜のある訳は どういうもので ござりますか。	ユル フィル ヌ アル ワケー チャール ムンデービルガヤー。
20	p.24	太陽に 向いたる 処は 昼であり まして 背きたる処は 夜でござりま す。	フィー ンカイ ンカトール トウ クロー フィル クシ ナトールトウ クロー ユル ヤヤビーン。
21	p.24	了解り易き例は ありませぬか。	ワカイ ヤッサル タトウイェー ネーン ガ アヤビーラ。
22	p.24	ござります。	アヤビーン。
23	p.24	御聞かせ下さい。	ウチカシ ミシエーピリ。
24	p.24- 25	行灯の 前に 此の球を 置いて見 ますると 灯光に面きて 明き所は 昼で 其背面の暗き所が 夜でござ ります。	トゥール ヌ メー ンカイ クヌ マーイ ウチミードウンシェー フィ カリニ アタティ アカガトール トゥクロー フィル アカガラン クラサル トゥクロー ユル ヤヤ ビーン。
25	p.25	潮水に 盈虚のあるは 如何の訳で ありますか。	ウシュ ヌ ミチフィリ ヌ アセー チャール イワリ ヤヤビーガヤー。
26	p.25	夫れは 太陽と月との引力で 潮汐 が出来ます。	ウレー フィートウ ツイチ トウ ヌ チカラ シャーイ ミチフィリ シミヤビーン。
27	p.25	空天に見ゆる 星に 大小のあるの は どういう 訳であります。	ティン ナカイ ミーユル フィシ ヌ ウフィシャ クーサ ヌ アシェー チャール チムエーヤヤビーガヤー。
28	p.25	是は 遠近により 又 大小も ご ざります。	クレー チカサ トウーサ ニ ユ イ マタ マギシャ クーサ ニン ユヤビーン。

No	現代首里方言	備考欄
19	ユルフィルヌ アル ワケー *チャー ル クトゥ ヤイビーガヤー。	*「チャングトゥル クトゥ」でもよい。
20	ティーダンカイ ンカトゥル トゥクロー フィル、クシナトゥル トゥクローユル ヤイビーン。	
21	ワカイ ヤッサル タトゥイエー *ネー ンガ アイビーラ。	*「ネーイピラニ」でもよい。
22	アイビーン。	
23	チカチ ウタピミシェーピリ。	
24	トゥールヌメーナカイ クヌ マーイ *ウチミードウンシェー フィチャイン カイ アタティ アカガトゥル トゥク ロー フィル アカガラン クラサルトゥ クロー ユル ヤイビーン。	*「ウチンジミードウンシェー」でもよ い。
25	*ウシュヌ ミチフィヌ アシェー チャー ル **イワリ ヤイビーガヤー。	*国吉氏は「ウシェ」を「ウス」と発音 する。**「ワキヌドゥ アイビーガヤー」 でもよい。
26	ウレー フィートゥ チチトゥ ヌチカ ラサーニ ミチフィ シミヤビーン。	
27	ティンナカイ ミーユル フシヌ マギ サクーサヌ アシェー チャール チム イエー ヤイビーガヤー。	
28	クレー チカサトゥ *トゥーサニ ユッ ティ マタ マギサクーサ ニンユヤビ ーン。	*国吉氏は「ニ」を「ンカイ」という。

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
29	p.25	それなら 此地球より 大きな星も ありますか。	アンシユー クヌ チキュー ヤカ マギシャル フシ ン アイガ シャ ビーラ。
30	p.25	<small>もくせい</small> 木星は 地球より 千二百倍も 大 きな 星でござります。	ムクシー ヤ チキュー ヤカ シ ン ニヒャクベーン ウフィシャル フシ ヤヤビーン。
31	p.25- 26	星の 大小と 遠近とは どうして <small>はか</small> 量られますか。	フシヌ マギシャ クーサ トウ チカサ トウーサ トー チャーシッ シ ハカヤビーガヤー。
32	p.26	<small>ぼうえんきよう そくりようじゆつ</small> 望遠鏡と 測量術とによります。	ポーエンキョー トウ スクリョー ジュツ トウ シャーイ ハカヤビ ン。

## ■第二章 学校の部 第六回

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.26	今日は 先生の宅へ <small>しつもん</small> 質問に 参り ますが 貴方は 御出なされませぬ か。	チュー ヤ シンシー トウクル ンカイ フシン ニ イチャブースイ ガ ウンジョー イメンシエーガ シャビーラ。
2	p.26	私も <small>ち</small> と <small>たき</small> 尋ね度ことが ござり ますで <small>おとも</small> 御同伴 致しましょう。	ワンニン ウフェー フシン シー テー ンディ ウムトーヤビークトウ ウマジューン イチャピラ。
3	p.26	<small>どう</small> 如何いう事を 御尋ねなされます。	ヌー グフシン ミシエービーガ。
4	p.26	<small>でんき</small> 電気の 起こる訳を 聞きとう ご ざります。	ディンキ ヌ ウクユル イワリ チチテー ンディ ウムトーヤビ ン。



No	現代首里方言	備考欄
29	アンシェー クヌ チキューヤカ マギサル フシン アイビーミ。	
30	モクセーヤ チキューヤカ *シン ニヒャクペーン ウフィナーヌ フシ ヤイビーン。	*「ウフィナーヌ フシ」は「マギサル フシ」でもよい。なお、国吉氏は「シンニヒャクペーヌ アタイ ダテーンヌ フシ」とする。
31	フシヌ マギサーサトゥ チカサトゥーサトゥー チャーッシ ハカイビーガヤー。	
32	ポーエンキョートウ ソクリョージュツトウサーニ ハカイビーン。	

■第二章 学校の部 第六回

No	現代首里方言	備考欄
1	チューヤ シンシー (ター) トウクルンカイ ウタジニ シーガ ユシリヤビーシガ ウンジョー イメンシェーピラニ。	
2	ワンニン イフェー ウタジニ ッシェーヤーンディ ウムトーイビークトウ ウマジュン イチャピラ。	
3	ヌー ウタジニ シミシェービーガ。	
4	ディンキヌ ウクユル イワリ チチミーブサンディ ウムトーイビーン。	

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
5	p.26	それは 余程 時間がかかりましょ う。	ウレー ドウツトゥ ナゲー カカ ヤビーラハズィ。
6	p.26- 27	<sup>ひととお</sup> 一通りで 宜うござりますから そ んなに永くは がかかりますまい。貴 方は 如何でござります。	フィットウトゥーイ シェー ユタシャ ンディ ウムトーヤビークトゥ アン マデー ナガコー カカヤピラン ハズィ。ウンジョー チャー デービ ルガ。
7	p.27	私は 学科の事に付きて 少し <sup>うたが</sup> 疑い がありますから <sup>ふつう</sup> 普通と <sup>へんそく</sup> 変則との <sup>くべつ</sup> 区別を 尋ねる <sup>つも</sup> 積りでござります。	ワンナー ガックウ ヌ クトゥ ニ ツィーティ ウフェー ウタゲー ヌ アヤビークトゥ フツウ トゥ フィンスク トゥ ヌ サシワキ フシン シュル カンゲー ヤヤビー ン。
8	p.27	それでは 早く 出掛けましょ う。	アンシェー フェーク イチャピラ。
9	p.27	そう致しましょ う。	アン シャピラ。
10	p.27	貴方 御先きに 御出でなされ。	ウンジョー ウサチ イメンシェービ リ。
11	p.27	左様なら 失礼でござりますが 御 先きに 参りましょ う。	アンシェー グブリー ヤヤビースイ ガ ウサチ イチャピラ。

## ■第二章 学校の部 第七回

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
1	p.27	今日は 御尋ね 申し上げ度き事が ござりまして <sup>あが</sup> 上りましたが <sup>おいそが</sup> 御忙しくは ござりませぬか。	チュー ヤ グフシン シービチー ムン ヌ アティ ユシリトーヤビー スイガ ウサシツィケー ヤ サー ラン ガ アヤビーラ。
2	p.27	<sup>いい</sup> 否へ。今日は 幸い <sup>しごと</sup> 仕事も ありませ ぬから 御緩と 御話しなされ。	アイピラン。チュー ヤ サイワイ シクチン ネーヤピラン クトゥ ウユルイトゥ ウファナシ ミシェー ビリ。

No	現代首里方言	備考欄
5	ウレー ユフドゥ ナゲー カカイピーラ ハジ。	
6	*フィットウトゥーイ シェー ユタサン ディ ウムトーイピークトゥ アンマディ ナガコー カカイピラン ハジ。 ウンジョー チャー ヤイピーガ。	*「ツチュトゥーイ」でもよい。
7	ワンネー ガックウヌクトゥニ チーティ イフェー ワカラン トゥクルヌ アイ ピークトゥ *フツトゥ フィンスク トゥヌ サシワキ ウタジニ スル カ ンゲーヤイピーン。	*国吉氏は以下を「フィージートゥ カ ワトール トゥクルトゥ ミワキ ウタ ジニスル カンゲー ヤイピーン。」と する。
8	アンシェー フェーク イチャピラ。	
9	アン サピラ。	
10	ウンジョー サチニ ッメンシェービレー。	
11	アンシェー グブリー ヤイピーシガ *サチニ イチャピラ。	*「ウサチ ナイピラ」でもよい。

## ■第二章 学校の部 第七回

No	現代首里方言	備考欄
1	チューヤ ウタジニ シーブサル クトゥ ヌ アティ ユシリトーイピーシガ、ウ サシチケーヤ *ネーイピラニ。	*新垣氏や国吉氏は「ネーピラニ」とも いう。また、「ネーガ アイピーラ」 でもよい。
2	アイピラン。チューヤ イー バス シクチンン ネーイピランクトゥ ウユー ウユートゥ *ウファナシミシェービリ。	*「ウファナシミシェービリ」でもよ い。

No	頁	本文 (和文)	『沖縄対話』本文 (沖縄語)
3	p.28	ありがとうございます。左様なら 少し <sup>お</sup> 御教え 下され。	ミフェーデービル。アンシェー ウ フェー ナラーチ ウタビミシェー ビリ。
4	p.28	何なりとも <sup>ごふしん</sup> 御不審の処は <sup>ごえんりよ</sup> 御遠慮 なく <sup>お</sup> 御尋ねなされ。	ヌーヤラワン グフシン ヌ トウ クローグリーンロー ミショーラン ゲトゥ ウタンニ ミシェービリ。
5	p.28	あの <sup>でんしんき</sup> 電信機は 誠に <sup>ふしぎ</sup> 不思議なもので ございますが 元と 如何 <sup>どう</sup> いう訳で 起 こるものでござりましょう。	アヌ ディンシンケー ドウク フィ ルマシャヤピースイガ ムトー チャー ル ワキ カラ ウクユル ムン デービル ガ ヤー。
6	p.28	電気の <sup>もと</sup> 原因で ありますか。是は <sup>あらあら</sup> 荒荒 <sup>おほな</sup> 御話し申したとて <sup>おわか</sup> 御了解りが 出来ますまい。頃者 <sup>このごろ</sup> 電気論という書 がありますから 先ず あれを二三 度 <sup>お</sup> 御読みなされ。其上で <sup>お</sup> 御話し致 しましょう。	ディンキ ヌ ムトウイ ウタンニ ガ ウヤミ シェービーラ。クレー アラアラ ウファナシシャクトウ ンディチ ウワカミシェール ムノー アヤピラン。クネーダンシ ディン キルンディ イユル シュムツイ ヌ アヤピークトウ マズイ ウリ ニサンドー ウユミ ミシェービリ。 アンシ カラ ウファナシ シャピ ラ。
7	p.28	私共でも 読める様な 本でござり ますか。	ワッター ガン ユマリソーナ シュ ムツイ ガ ヤヤビーラ。
8	p.29	<sup>かなおく</sup> 仮名送りの文で 誠に 読み易き本 であります。	カナ ツィキテーヤピークトウ ドウツ トゥ ユミヤツサル フン ヤヤビー ン。
9	p.29	左様でござりますなら <sup>まっそく</sup> 早速 読み て参りましょう。	アンシェー フェーク ユディ ユ シリヤピラ。
10	p.29	それが 宜しうござります。	ウレー ユタシャヤビーン。

No	現代首里方言	備考欄
3	ニフェーデービル。アンシェー イフェー ナラーチ ウタビミシェービリ。	
4	ヌー ヤラワン ワカミソーラントック ロー グインロー シミソーラン グトゥ ウタジニミシェービリ。	
5	アヌ ディンシンケー ドック フィル マサイビーシガ ムトー チャール ワ キッシ ウクコル ムン ヤイビーガヤー。	
6	ディンキヌ ムトゥ ウタジニガ ヤミ シェービーラ。クレー *アラアラ ウ ファナシ サクトウンディチ ワカミシェ ル ムノーアイビラン。クネーダンシ デンキロンンディ ッコル スムチヌ アイビークトゥ マジ ウリ ニサンドー ユミミシェービリ。アンシカラ ウファ ナシ サビラ。	*国吉氏は「アラアラ」を用いず、「ザッ トゥ」を使用する。
7	ワッター ガン コミユースル スムチ ガ ヤイビーラ。	
8	カナ チキテーイビークトゥ *ドゥッ トゥ コミヤッサル フン ヤイビーン。	*国吉氏は「ドゥットゥ」を「ドゥードゥ」 という。(以下同じ)
9	アンシェー フェーク ユディ ユシリ ヤビラ。	
10	ウレー ユタサイビーン。	

No	頁	本文 (和文)	『沖繩対話』本文 (沖繩語)
11	p.29	あの 近頃の 学則には 普通と 変則との 別ちがありますが 是は 如何 <small>どう</small> いう訳で ござりましょう。	アヌ クネーダンシ ヌ ガクスク ネー フツー トゥ フィンスク トゥ ヌ ワキ ヌ アヤビースイ ガ クレー チャール ムン ガ ヤヤビーラ。
12	p.29	普通と申せば 貴賤男女の別ちなく 何人 <small>だれ</small> でも 心得て居らねばすまぬ ものでありまして 書物を読み 字 を写し 算盤 <small>そろばん</small> を弾き 地の理を知り 前代の事に通じ身を修むるの 六科 を 兼ね学ぶ事を 申したので 又 変則とは 其 六つの中の 二三科 を学びまして 六科を兼ね 学びま せぬ事 <small>おしえかた</small> で 人間 普通の 教方では ありませぬから 変則と申します。	フツー ンディ イユシェー ミブ ン ヌ タカサ フィクサ イイキ ガ イイナグ ヌ ワケー ネーン。 ターヤティン シツチョーラ ネー ナラン ムンヤティ シュムツイ ユダイ ジー カチャイ スヌバン ハンチャイ ジー ヌ クトゥ シツ チャイ ンカシ ヌ クトゥ ワカ タイ ドゥー ウサミタイ シュル ルックワ カニ マナブシェー フ ツー ンディ イー マタ フィン スク ンディ イユシェー ウヌ ムーツイ ヌ ウチ ヌ ニサンクワ マナディ ルックワ カニ マナベ サン。ニンジン フツー ヌ ウシー カター アラン クトゥ フィンス ク ンディ イヤビーン。

No	現代首里方言	備考欄
11	<p>アヌ クネーダンシヌ ガクスクネーフ ツートゥ フィンスクトゥヌ サシワキ ヌ アイビーシガ クレー チャール ムンガ ヤイピーラ。</p>	
12	<p>フツーンディ ッユシエー ミブンヌ タカサトゥ フィクサ イイキガトゥ イィナグヌ フィダテー ネーン。ター ヤティン シッチョーランダレー ナラ ンムンヤティ スムチ ユダイ ジー カチャイ *スルバン イッタイ ジー チヌ クトゥニ チーティ シッチャイ、 ンカシヌ クトゥ ワカタイ、ドゥーウウ サミタイ スル ルックワ ナライシエー フツーンディ イー、マタ フィンス クンディ ッユシエー ウヌ ムーチヌ ウチヌ ニサンクワ ナラティ ルツ クワ ナライエーサン ニンジン フツ ヌ ナラーシカター アランクトゥ フィ ンスクンディ ッヤピーン。</p>	<p>*「スヌバン」でもよい。</p>

おわりに

上にみたように、約130年前の首里方言を記述した言語資料『沖縄対話』と現在の首里方言とでは、多くの箇所では差が生じている。これらを一つひとつ取り上げたいが、紙幅に限りがあるため、ここでは両者の違いについて、概略を示す。

## 1. 音韻対応の特徴

### 1-1. 「スイ」→「シ」

日本語（共通語）の「す・ず・つ」が、『沖縄対話』では「スイ・ズイ・ツイ」に対応しているが、現代首里方言では「シ・チ・ジ」となっている。これら歯茎硬口蓋の音を、「スイ・ズイ・ツイ」と発音するのは、首里の士族の家柄であることを示す音である。ただし、この音は完全な歯茎音ではなく、[si]と [ei]との中間的な音で非常にやわらかな聞こえである。本稿ではこれらを [ʃi]と表記する（「ズイ」や「ツイ」も同様にやわらかい発音である）。

糖業研究会出版部編（1916：6）の序文で『沖縄対話』の話者について「護得久按司朝常氏」と述べている。もし、護得久氏が話者であれば、旧士族のなかでも非常に上流の「ウドウン」（御殿）と呼ばれる家柄の出自であること、『沖縄対話』がそれを色濃く保っていた明治期初期の記録であることなどを勘案すると、この発音を保っていて当然である。なお、この区別については国立国語研究所（1963）でもきちんと区別されている。しかし、かつてこの区別を保っていた旧士族階級のインフォーマントの大部分はこの発音を失っており、継承していても非常に一握りの人々である（ただし、インフォーマントのうち、新垣恒成氏はこの音を継承しているが、ぞんざいに発音すると [ʃi]ではなく [ei]と発音する）。よって、他の旧平民階級のインフォーマントも含め、現在の首里方言の標準的な発音は概ね [ei]のように発音される。

### 1-2. 「シャ」→「サ」

この変化は特に形容詞のうち、感情を表す形容詞（いわゆる「シク活用」にほぼ対応する形容詞）にみられる。『沖縄対話』の原文で「ユタシャン」（よろしい）とあるものが、現在の首里方言では「ユタサン」のように「～サ」と直音化してしまった。その結果、形状や状態を表す「タカサン」（高い）のようないわゆる



「ク活用」との区別が「連用形」以外では認められない。

## 2. 待遇表現

### 2-1. 「イメンシェーベリ」→「ツウェンシェーベリ」

現在、沖縄本島中南部の各方言（ユネスコの「沖縄語」にあたる）で「ツメンシェーベリ」「ツメンソーリ」「メンソーリ」「メンソーレー」などと発音される語は『沖縄対話』に本文のあるように「イメンシェーベリ」と古くは「イ〜」からはじまる単語であった。しかし、狭母音/i/が、後続する鼻音/m/に飲み込まれたため、首里方言では母音の名残として声門閉鎖音を伴った「ツメンシェーベリ」や、「イメン〜」が融合し、「ツウェ〜/?we/」に変化した「ツウェンシェーベリ」と発音される。特に男性話者は「ツウェ」となることが多い。この「イメンシェーベリ」の元の動詞「イメン」は、仲宗根（1987 [1976]）で「います」や「往ぬ」と関係があると説明された動詞で、「居る」のほか、「行く（往く）」や「来る」の尊敬語として用いられている。なお、現在の首里方言では「ツウェンシェーベリ」に丁寧さを加えたいときに「イメンシェーベリ」を用いる話者も確認される。

### 2-2. 「デービル」→「ヤイビーン」

現在の首里方言の「デービル」は、定型文に限定されるコピュラ<sup>けいじ</sup>（繫辞）である。現在「デービル」が用いられているのはおもに「ニフェデービル（ありがとうございます）」と「イーソーグワチデービル（よい正月でございます）」であり、その他の表現での使用例はほとんどみられない。一方、『沖縄対話』の原文では、「第2章 学校」の第7回のNo.5の「チャール ワキ カラ ウクウル ムン デービル ガヤー。」（どのような理由から[により]発生するものでございますか。[現代語訳は筆者]）のように、現在なら「ヤイビーン（です）」を用いる箇所に頻繁に表れている。

この「デービル」は「ドゥ ヤイビール」から音変化したものと考えられ、本来は係助詞「ドゥ」と「ヤイビーン（です）」の連体形「ヤイビール」による「係り結びの法則」によって「強調」の意を含んでいたと思われる。しかし、130年前の資料ではすでに強調の意が薄れ、「ヤイビーン」と同等のコピュラになっ

ている。ただ、上記2例が現在も用いられているのは、この「強調」の意が完全に漂白されずに残ったからと推察される。それは「ニフェーデービル」や「イースーグッチ デービル」の「デービル」を「ヤイビーン」に置き換えてしまうと、相手への感謝の念や年頭の祝意が薄れてしまうので、「デービル」が化石のように生き残っているとみられる。

## 注

- 1 「首里<sup>ことば</sup>言葉の集い」は沖縄県立芸術大学の加治工真市氏（現在は名誉教授）が1998年に創設した研究会で、当初は中村春子氏や故比嘉恒明氏も加わっていた。現在は仲原が事務局を務めており、沖縄県立芸術大学附属研究所にて週に1回（約2～3時間）の研究を続けている。現在のメンバーは仲里政子氏、新垣恒成氏、渡名喜勝代氏、高原孝朋氏、大道好子氏、国吉朝政氏、知念ウシ氏ら首里生まれの方々を中心である。また、ニュージーランドのオークランド大学上級講師ウエイン・ローレンス氏も、沖縄に長期滞在して研究を行う際には必ず研究会に参加している。このほか、2012年12月より2013年3月まで花園悟氏（東京外国語大学）も参加した。

## 参考文献

- 沖縄県庁 編（1975 [1980]）『沖縄対話 [復刻版]』国書刊行会
- 国立国語研究所 編（1963）『沖縄語辞典』大蔵省出版局
- 糖業研究会出版部 編（1916）『琉球語便覧』糖業研究会出版部
- 仲宗根政善（1987 [1976]）「宮古および沖縄本島方言の敬語法 - 「いらっしゃる」を中心として - 」『琉球方言の研究』新泉社
- 仲原 穰・比嘉恒明・仲里政子・新垣恒成・国吉朝政（2012）『現代首里方言訳』『沖縄対話』（1） - 「第一章 四季の部」（春・夏） - 」『沖縄芸術の科学』第24号 沖縄県立芸術大学附属研究所
- 西岡 敏・仲原 穰 [著]、伊狩典子・中島由美 [協力]（2006 [2000]）『沖縄語の入門（CD付改訂版） - たのしいウチナーグチ』白水社